

第6学年 図画工作科 学習指導案

平成29年10月18日（水）第5校時

1 題材名 おどる光、遊ぶかげ ～光と影のミラクルワールド～

A 表現（1）材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動 B 鑑賞（1）

2 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく素直でのびのびとしており、何事に対しても意欲的である。図画工作を好きな児童が多く、どうすれば作品がよりよくなるか教師に熱心に聞きにきたり、何度も試して工夫を凝らそうとする様子が見られたりする。想像を広げ、自分の思いを表現することを楽しんでいる児童が多い一方、アイデアが浮かばない、思い通りにできないなどの苦手意識を持っている児童もいる。そこで、本題材では、作品化することにとらわれず、友だちとの対話を通して、試して、見つけて、考えていくことで自分のイメージを広げていく事を大切にしたい。そして、個々に作品を作り上げていく活動とは異なる楽しさを感じ、つくり出す喜びを味わうことができるように支援していきたい。

（2）本題材を指導するに当たって

本題材は、電球やLEDライト、プロジェクターなどを使って、光を通したり反射したりする材料を組み合わせ、おもしろい光や影の世界をつくり出す造形遊びの活動である。児童が材料や場所、空間などの特徴を関連させながら活動できるように、活動場所を「ミラクルワールド」に変えるというテーマのもと活動を行う。そして、自分たちが造形的に手掛けることで、見慣れた場所や空間を新しい場所や空間につくり変えることの面白さを感じられるようにしたい。児童一人一人が伸び伸びと活動できるように、材料や光源は十分に準備し、児童が材料や場所と関わりあう時間を十分にとりたい。また、友だちとの対話から生まれる新たな発想を大切にし、「つくり、つくりかえ、つくる」という学びの過程を児童自身が実感できるようにしたい。

3 研究主題との関わり

研究主題 基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、思考力・判断力・表現力等を育成する 授業の工夫改善
--

図画工作科における基礎的・基本的な内容とは、共通事項と捉え以下のような工夫を行う。

〈工夫1〉 変身させる前の教室の様子を提示し、見慣れた場所・空間が変わる楽しさをより感じられるようにする。また、グループでの活動の様子を児童自身がタブレットに記録することにより「つくり、つくりかえ、つくる」という学びの過程を実感できるようにする。

〈工夫2〉 中間鑑賞会を行うことで、表現と鑑賞を交互に体験し、自分の思いを伝えるという言語活動を充実させる。さらに、イメージを友だちと共有したり、新しい自分のイメージをつくりだしたりするなど、イメージを広げながら表現や鑑賞の活動を展開できるようにする。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

光源・材料や身近な場所・空間の特徴をもとに、思いついたり、つくり方を考えたりして活動することができる。

(2) 本題材における[共通事項]

光と影の効果を試しながら、形や色、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、それらをもとに活動のイメージをもつ。

(3) 本題材における評価規準

◆「努力を要する」と判断される状況（C）児童への支援

※アンダーラインは、[共通事項]に関連した内容を示す

造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
光や影の美しさを生かした活動をする <u>こと</u> に興味をもとうとしている。	光や影の効果を考えながら、 <u>表したい世界</u> を考えたり、見つけようとしている。	光源と身近材料の <u>組み合わせ</u> を試したり、 <u>光や影の美しさやおもしろさ</u> を表したりするための工夫をしようとしている。	光や影の美しさを見つめたり、感じたりしながら、自分と友だちの表現の違いやよさを味わおうとしている。
◆活動が滞っている児童には、できそうなことを一緒に考えたり、光で遊ぶことからやってみるように声を掛ける。	◆周りの友達の活動を鑑賞したりしながら、自分のグループの友だちの表したいイメージを共有し、そこから発想し活動を広げるようにする。	◆光源と材料の特徴を一緒に考え、光源に対してどんな材料を組み合わせるかによって、変化があることに気づくようにする。	◆自分の思いを表現できない児童には、他の児童が感じた印象を聞くことで、自分の思いと似た点を見つけ、よさを感じられるようにする。

5 指導計画・評価計画（本時3／3時）

学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
1 題材について知り、光の当て方によって美しく変化する透過光や影の美しさに気づく。 ・安全面の約束 ・グループ、活動場所決め	○				関 発言・表情
2 光源と集めた材料を使って、グループで光と影をつくりながら、材料の特徴を試す。 ・中間鑑賞会		○		○	発 鑑 行動観察・表現 発言・対話
3 これまでの活動を生かして、材料や光源、場所などを考えながら、グループで活動を広げて表現する。 ・相互鑑賞会			○	○	創 鑑 行動観察・表現 発言・表情・対話

6 本時の学習（本時3／3時）

(1) 目標

光源と材料や場所・空間を効果的に使い、イメージを広げて光と影の世界をつくる。

(2) 準備

○教師：懐中電灯、LEDライト、プロジェクター、鏡、布、暗幕、色セロハン、水槽
 ロール模造紙、ホワイトボード、大型テレビ、タブレット
 その他（光を通す物・反射する物・影を作る物）

○児童：懐中電灯など家庭にある光源、はさみ、セロハンテープ、自分で集めた材料

(3) 展開

過程・時間	学習活動	指導の工夫 〔共〕：『共通事項』に係わる内容	評価と手立て 〔◎充分満足できる状況〕 〔◆C判断児童への手立て〕
導入 3分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">提案1 イメージを広げて、光と影のミラクルワールドをつくろう。</p> <p>1 教師の提案を聞き、前時の活動を想起しながら、本時の活動のおおよその見通しを持つ。</p>	<p>○光源を直接見ないこと、光源によっては熱をもつものもあるので直接接触ったり、密封しないようにするなど、安全面の確認を再度行う。</p> <p>○前時の鑑賞で気がついたことや、試してみたいことなど進んで行うように促す。</p>	
展開 35分	<p>2 光源・材料や場所・空間の特徴を考えながら、つくる。</p> <p>「天井を利用して、星空を表現してみよう」</p> <p>「布を使って、動く光を表現してみよう」</p> <p>「影をおもしろくできないかな」</p> <p>「コーナー（教室の隅）を使って、何かできないかな」</p> <p>「さっき見た、友だちのやり方を使ったら、床にも光が写せそうだな」</p>	<p>○普段の教室の様子を提示し、場所・空間を変えていくという意欲付けを行う。</p> <p>○教室を暗くすることを考え、様々な材料は、廊下にスペースを作り、使い易くする。</p> <p>○友だちと積極的に関わっている姿を認め、互いの自然な鑑賞活動を通してイメージを広げようとする。</p> <p>○材料と場所、空間などの関係を捉え、活動を発展させている児童を賞賛し、意欲を高める。</p> <p>○見る場所を変えることで、奥行きや空間を感じ取ることができるヒントを投げかける。</p> <p>○グループの活動の中で、美しい、おもしろいと感じた瞬間や</p>	<p>創光源と身近材料の組み合わせを試したり、光や影の美しさやおもしろさを表したりするための工夫をしようとしている。</p> <p>【行動観察・表現】</p> <p>◎光や影の美しさやおもしろさを生かし、場所との関係を考えて、材料の使い方を工夫している。</p> <p>◆場所の特徴を一緒に考え、前時までの活動を想起させ、様々な材料を一緒に試しながら、よりより組み合わせを考えられるようにする。</p>

		<p>視点をタブレットで記録する。</p> <p>○作品化することにとらわれず、<u>形や色、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、それをもとにイメージをもって活動するよう</u>にする。 [共]</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 提案2 グループでつくった光と影の世界を紹介しよう。 </div>			
	<p>3 活動を発表し合い、互いのよさや工夫を認め合う。</p> <p>「鏡を使って、光を反射させました」</p> <p>「光を布に当てると、光がふわりとして、あたたかいイメージがします」</p> <p>「ペットボトルの形によって、光の模様が変わっておもしろいです」</p>	<p>○<u>形・色・イメージのよさや美しさ</u>について考えるように伝える。 [共]</p> <p>○紹介しながら、グループでこだわったことを発表させる。</p> <p>○普通の教室の様子を提示し、自分たちが造形的に手がけることで、見慣れた場所が新しい場所へ変わったことの面白さを感じられるようにする。</p>	<p>鑑光や影の美しさを見つけたり、感じたりしながら、自分や友だちの表現の違いやよさを味わおうとしている。</p> <p style="text-align: center;">【発言・表情・対話】</p> <p>◎材料や光源の違いで変化する光や空間の美しさに気付いている。</p> <p>◆自分の表現との違いや、おもしろいと思った表現を見つけられるようにする。</p>
整理 7分	<p>4 本時のまとめをし、後片付けをする</p>	<p>○すべてのグループの光を一斉に点けて、ミラクルワールドを楽しむ。</p> <p>○鑑賞カードに活動の振り返りを書く。</p>	

私の授業の観てほしいポイント

《付箋の活用方法》 青：授業の良かった点
赤：授業の改善点
黄：改善提案（こういう方法はどうか）

所属校 八潮市立中川小学校 6年

題材名 「おどる光、遊ぶかげ ～光と影のミラクルワールド～」

学習内容 造形遊び A表現（1） B鑑賞（1）

・光源と材料を効果的に使い、イメージを広げて光と影の世界をつくる。

① 活動の様子をタブレットに記録することにより「つくり、つくりかえ、つくる」という学びの過程を実感できたか。（形や色などの造形的な特徴の理解＝知識）

② 共同してつくりだす活動を通して、互いの見方や感じ方に気付き、表現や鑑賞を高め合うことができたか。（思考力・判断力・表現力等）